



国際沿岸海洋研究センター共同利用研究集会  
「台風の力学：何が理解されていないのか？」  
(通称：台風集会@大槌2006)

研究代表者：海洋研究開発機構 大淵 済  
コンビーナ：気象庁気象研究所 中澤哲夫

**開催場所：**

〒028-1102岩手県上閉伊郡大槌町赤浜2-106-1  
東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センター  
Web：http://www.icrc.ori.u-tokyo.ac.jp/  
Tel：0193-42-5611, Fax：0193-42-3715

**開催日：**2006年9月12日(火)～9月13日(水)

**開催目的：**台風は我が国にとってもっとも顕著な激しい大気擾乱であり、毎年多くの被害をもたらすことから、これまで多数の研究者が懸命にその研究に取り組んできた。その結果、台風の構造や発達機構に関しては、ある程度理解は進んできたが、その発生機構に関しては現在も十分に理解されていないことが多い。一方、防災の観点からは、個々の台風の発生・発達や進路の予測は大変重要であるが、いまだ困難な事例も少なくない。更に、今年の秋の台風は多いのか少ないのかなど、1か月より長い時間スケールの活動度の予測にいたってはまだまだ未開拓の領域であり、温暖化が進んだ場合の台風の活動度の変化など一般社会も注目する課題はますます増加している。近年新たな観測手法や数値モデルの精緻化、アンサンブル予報やターゲット観測などの概念の登場に伴い、台風の研究にも新展開が起りつつある。本集会では、個々の研究機関で行われている研究成果を持ち寄り、通常の学会よりも時間をかけて十分に議論し、相互理解を行なうことにより、1) 今後の追求すべき重要な課題を明確化すると同時に、2) 大学院生や若手研究者並びに新規参入研究者の育成を図ることを目的とする。

集会では、経験豊富な専門家による基調講演により、重要課題の提示をお願いするほか、大学院生や若手研究者も自由に議論に参加できる雰囲気のも

と、試行過程にある研究発表も奨励し、実りのある議論を行ないたい。

**参加申込締切：**2006年8月11日(金)

**参加申込：**typhoon\_symposium\_otsuchi@yahoo.co.jp宛に、件名(Subject)を“registration”として電子メールを送付して下さい。また、本文中に参加者の氏名・メールアドレス・所属・肩書・発表の有無・発表題目・旅費補助の要不要・センター内宿泊所宿泊希望の有無・懇親会の出欠について記入して下さい。

なお、若干ではありますが、旅費の補助が可能です。基本的には本人あるいは指導教官の研究費から旅費の支出ができない人を優先しますが、旅費の補助の希望のある方はその旨をメールに記入して下さい。

1週間以内に参加申込受領のメールを返信致します。受領通知メールが来ない場合には、お手数ですが上記アドレスまでお問い合わせ下さい。

**宿 泊：**開催場所のセンター内に宿泊所があります。これは、主として学生さん用として確保しております。宿泊所を希望の方は、その旨をメールに記入して下さい。それ以外の方は、近くの民宿などを『各自で』手配願います。

- ・ 民宿あかぶ(0193-42-6877)センターから徒歩3分
- ・ 民宿六大工(0193-42-4036)センターから徒歩20分
- ・ ビジネスホテル梅津(0193-42-2368)大槌駅前、  
バス15分赤浜小学校前下車徒歩10分

**本件連絡先：**

気象庁気象研究所台風研究部 別所康太郎  
E-mail：typhoon\_symposium\_otsuchi@yahoo.co.jp